

月夜の傍らで

作編曲・Mix：らずりP 歌唱：秣本瑳羅 作詞：久遠真雪

月の歌が聞こえる
今日も生まれ また散るの？
無垢な風 ゆらゆらと
優しく触れる

月が微笑む度に
哀しくなるのは何故か
溶けていく夢一つ
誰も知らない

巡る光の中
生まれる祈り重ねて
出逢う奇跡
空にいる君 木に登れば届くのかな

ああ もっと近くに行って
友達になりたい だから
諦めず探そう
道はどこかにあるよ

目指す空まで続く
階段を見つけに行こう
歩いてく足音
響く意味が消えても

月はいつも綺麗で
僕を照らす ただ そっと
白い花 ひらひらと
儚く散った

月が霞む夜さえ
愛しくなるのはきっと
空の声 聞きながら
夢見れるから

あたたかな安らぎ
甘い匂いに包まれ
願う奇跡
会いに行くまで そこにいて待って欲しい

ああ もっと近くに行くよ
友達になりたい だけど
透明になってく
体覚えてるから

こんな月夜に生まれ
散っていく小さな命
欠片だけ残して
消える運命だから

ああ 何度繰り返しても
友達になれない なんて
叶うなら気付いて
僕が生きた証に

誰か一人でもいい
僕は生きていたよ だけど
欠片だけ残して
消える泡沫の夢